カトリック幟町教会報
平和の鐘
2020年
2月
No.501

あけましておめでとうございます

アンドレア　荻　喜代治　神父

昨年は、フランシスコ教皇様を中心に動いた1年間だったように思います。

(1)広島での思い出

いろんな心配の中、東京、長崎に比べて短時間であり、公的に祈りはできない集いではありましたが、一番心のこもった祈りの集いであったと思います。夜の静寂の中、教皇到着前、皆着席して静かに祈りの心で過ごすことができました。

式の中で教皇は、記念のキャンドルに火を灯され、しばしの間、黙祷を捧げておられました。おそらく、原爆犠牲者のため、世界平和のために祈っておられたと思います。諸宗教者との出会い、原爆被爆者との出会いは短かったですが、心のこもった時間でした。

(2)長崎・東京ドームで

11月23日午後の東京ドームでのミサに参列しました。

ミサ前、参列席の周り、中央に作られた車の道をオープンカーで皆を祝福しながら廻られました。ゆっくりと進む車の周りを、共に歩むバチカンのガードマンの方に抱きかかえ上げられた子どもたちは祝福を受け、祝福のキッスも受けていました。ところどころで総勢20人ぐらいはいました。明るい教皇様による、明るく意味深いミサがあっという間に終了しました。

(3) 教皇来日を一つのイベントとして終わらせるのではなく、教皇様が与えて残してくださった行事、教えを大切に受け止め、私たちの生活の中で生かしていきたいと思います。

街頭募金報告と社会部活動について

社会部 KA

幟町教会クリスマス実行委員会では待降節第４の主日 12 月 22 日に幼子イエスの誕生を迎える準備として、路上生活者・生活困窮者を支援するための街頭募金活動を八丁堀交差点のヤマダ電機・福屋デパート前で行いました。

寒い中を荻神父様も参加され、延べ 30 名の信徒の方々と共に道ゆく人たちに支援を呼びかけました。また、市民クリスマスミサの案内チラシも配りました。シルベスタ神学生も優しく微笑みながら３時間チラシを配ってくださいました。道ゆく方々は支援の呼びかけに応えて、献金箱にご寄付してくださいました。この善意の寄付金は路上生活者を多面的に支援活動している広島県社会福祉士会へ送金し、ご活用していただく予定です。

社会部は、信徒使徒職の一端を担い、私たちの生活基盤である社会に、キリストの福音を伝え、実現していくための活動を行っています。災害時の募金活動や「平和学習会」としての講演会・勉強会を信徒の方々に呼びかけて開催しているほか、今まで幟町教会を支えてくださった御高齢の方たちに感謝する祝賀会のお手伝いも行っています。

また、路上生活者や生活困窮者へのカレーの炊き出しでは、広島学院のボランティアの学生さんと保護者の方々、日本基督教団流川教会、幟町教会が月担当を決めて毎月第四日曜日に上幟町公園で行っています。幟町教会の担当月には、皆様からご寄付して頂きました支援物資の衣類を配布しています。さらに、教会外の諸団体の連携により、研修室にて足湯・散髪・健康相談も行っています。

このほか、社会部では「アフリカ友の会」の支援もしています。「アフリカ友の会」は最貧国のひとつ中央アフリカ共和国のエイズ患者・エイズ孤児・栄養失調児・生活弱者を支援している団体です。2006 年「アフリカ友の会」創設者である徳永瑞子さんの講演会を幟町教会で行って以来の活動です。カトリック会館エントランスホールの公衆電話台横に置いてある「アフリカ友の会」の箱に使用済切手や未使用の切手やハガキ等を集め、寄付金も受け付けています。集まったものは郵送、送金しております。

皆様のご理解とご協力に対して心より感謝しております。これからも社会部へのご参加とご支援をよろしくお願いいたします。

2020 年のサントニーニョ

1 月 19 日、恒例の “サントニーニョ”の祝いがミサから始まった。

今年の会場は全て聖堂の中。最前にたくさんの聖幼子像が持ち寄られ祝福。

聖書朗読、聖歌、祈りは日本語だけでなく、各国語を交えながら捧げられた。

説教の前には、スライドを使い「サントニーニョの歴史について」の説明。

ミサ後、1 月 12 日に噴火したフィリピンのタール火山の災害状況報告と共に募金の呼びかけ。引き続き楽団の演奏やベトナム、フィリピンの演舞など今年も多彩なお祝いでした。

「各国の文化と信仰表現を共有でき素晴らしい♪」との好評多い中、一方では共有の大切さを認めながらも「最近のミサは共有を目指すあまり、時間も長くなり焦点がぼやけ気味になってはいないか？」との意見も少なくはないようでした。『共に捧げる』大切さと伴に『人間のリズム』も理解し合いながら、より良いミサ形態が形作られるまでの、良き過渡期なのかもしれない。

※多彩をまとめる為に打合せ、調整が長引き、当日配布の式次第は遅くまで職員の方が作業され、スライド・手話通訳の準備も寸前までの作業のようでした。皆さまご苦労様でした。（の）

宣教司牧評議会から（1/24）

<会計制度の見直し>

（1） 献金区分の種類を統一し、集金袋を一つにする。

現在、①教会維持費　②一粒会　③聖堂維持補修費　の３つの袋に分けて献金しているが、４月からは一つの献金に統一します。

（2） 振込制度を導入する。

現金による献金を減少し、集金のリスクを減らすと共に、振込により献金しやすくします。

（3） 信徒による会計奉仕者を選任登録制にする。

現在の会計業務の奉仕を見直し、新しい体制で、教会事務の業務として入金作業を行います。

行事等

2 月 23 日(日)　平和アピール 1981 記念行事
伊藤・安坂神学生　朗読奉仕者選任式(幟町教会)

2 月 26 日(水)　灰の水曜日

3 月 20 日(祝)　久保助祭、ジャルトアルベルト助祭
司祭叙階式(幟町教会)

3 月 29 日(日)　四旬節黙想会（アベイヤ補佐司教）

4 月 9 日(木)～11 日(土)　聖週間

4 月 12 日(日)　復活祭

カメラ・リポート

1 月 26 日のミサ後、『文化財防火デーに伴う消防訓練』が行われました。今年は広島市消防局の 35 メートルのはしご車による救出デモンストレーション、
初期消火活動である消火器の扱いなど、より具体的な訓練が行われました。

編集後記

ご近所の方から聞いた話です。町内会の清掃場所である公園で、おひとり清掃されている方がいらしたそうです。カレーの炊き出しでお世話になっているため、お礼の気持ちで清掃されていたとか。関係者のみなさま、教会外での貴重なボランティア活動、いつもありがとうございます。（な）

カトリック幟町教会

〒730-0016　広島市中区幟町 4 番 42 号
電話　082-221-0621
ファクス　082-221-8486
ホームページ　http://noboricho.catholic.hiroshima.jp

ミサの時間

日曜日　7:30、9:30、14:30～（英語）
第 1 日曜日　15:00（ポルトガル語）
第 4 日曜日　11:00（ベトナム語）
月の最後の日曜日　17:00（スペイン語）
平日　7:00　　金曜日　7:00、10:00
土曜日 7:00、18:00（主日）

主任司祭　荻 喜代治 神父
助任司祭　バート神父（淳心会）

シスター　小野島照子（援助修道会）